

履 歴 書

氏名（ふりがな） 熊本 太郎（くまもと たろう）

生年月日 1975年1月11日

自宅住所 〒8XX-0XXX ○○県○○市○○町 1-23-4-567
TEL/FAX : 0XX-123-4567

勤務先・役職 ○○大学○○部○○学科・准教授
○○大学○○部○○学科 ○○学専攻 ○○学講座
〒8XX-0XXX ○○県○○市○○町 8-9
TEL : 0XX-321-4567 FAX : 0XX-321-1234
E-mail taro@xyz.abc.ne.jp

学 位 ○○博士（2002年3月 ○○大学）

所属学会 日本○○学会（15年間、平成28年より評議員）、
日本△△学会（12年間、平成30年より理事）
日本□□学会（10年間）

学 歴 1993年3月31日 ○○高等学校 卒業
1993年4月1日 ○○大学○○学部 入学
1997年3月25日 同 卒業
1997年4月1日 ○○大学大学院○○研究科修士課程 入学
（○○学専攻）
1999年3月24日 同 修了（○○修士）
1999年4月1日 ○○大学大学院○○研究科博士課程 入学
（○○学専攻）
2002年3月24日 同 修了（○○博士）

職 歴 2002年4月1日 ○○大学○○学部・博士研究員
2005年7月1日 ○○大学○○学部・助教
2012年4月1日 ○○大学○○学部・講師
2014年7月16日 ○○大学○○学部・准教授
現在に至る

教育活動 2012年度～2022年度 医療情報学、基礎情報処理
2014年度～2022年度 物理化学
2018年度～2022年度 医薬総合演習

賞 罰 2010年12月3日 第10回日本xx学会賞受賞

免 許 1997年4月10日 薬剤師免許（登録第11111号）

業績目録

熊本 太郎

注：著者名は原則として全員を記すこと。ただし著者数が多数（10人以上）にわたる場合は、最初の著者を3名記入し以下を省略のこと（省略する場合、その員数と、掲載されている応募者の順番を○番目と記入）。なお、応募者には下線を付し、論文の corresponding author（責任著者）には*を記すこと。投稿中論文は記載しないこと。印刷中論文については、正式な採択通知書のコピーを提出できる場合に限って記載が認められる。英文原著論文については、Journal Citation Reports (JCR)に基づく当該論文掲載誌の最新の impact factor (IF)を記すこと。また、研究領域 (JCRのCategories) 別の IF ランキング (総説誌を除く) において当該論文掲載誌が上位 10%または上位 40%にあるものについてはその旨を付記すること。

I. 原著論文

1. Kumamoto T*, Honjo E., Oe Y., Kuhonji T., Kurokami T.
Endothelin activates the in vascular smooth muscle.
Nature 405, 586-589 (2000) [IF 69.504；上位 10%]
2. Honjo E.*, Kumamoto T, Oe Y., et al. (15人中2番目)
Regulation of Human B Cell ...
Immunobiology 207, 9-13 (2001) [IF 3.152]
3. Oe Y., Honjo E., Kuhonji T, Kumamoto T., Kurokami T*.
Cell-matrix interaction via CD44 is PKC activation.
J. Biol. Chem., in press. [IF 5.485；上位 40%]

II. 英文原著論文のまとめ

注：記入例に従い、ピアレビューによる査読システムを経て発表された英文原著論文について、総論文数、主要著者（第1著者、第2著者、最終著者あるいは責任著者）となっている論文数、最近5年間（2019年以降）の論文数、掲載誌が IF ランキング上位 10%にある論文数、掲載誌が IF ランキング上位 40%（上位 10%を含む）にある論文数を記載すること。印刷中の論文については、I. 原著論文に記載したものに限る。第1著者でかつ責任著者である場合や、最終著者でかつ責任著者である場合などは責任著者として扱い、重複して数えてはならない。

記入例

総論文数	主要著者論文数	最近5年間の論文数	IF 上位 10%学術誌掲載論文数	IF 上位 40%学術誌掲載論文数
〇〇	〇〇	〇	〇	〇〇

III. 総説

1. Kumamoto T*.
Endothelin activates the in vascular smooth muscle.
Curr. Opin. Struct. Biol. 123, 456-789 (2005)
2. Honjo E., Kumamoto T*., Kurokami T.
Regulation of Human B Cell ...
FASEB J. 78, 9-10 (2008)

IV. 著書

1. 熊本太郎
医療情報学入門
統計科学講座 20, 456-489, ○○書店 (2020)

V. 招待講演

(注：国際学会や全国規模の学会に限定し、地方集談会を除いたものを記載のこと。)

1. 熊本太郎、本荘次郎
サイトカイン受容体の動的構造解析
第23回蛋白質工学会シンポジウム(2012)
2. Kumamoto T.
Regulation of Human B Cell ...
Tenth International Conference on Human (2018)

VI. 学会発表（最近5年間について記載のこと。)

1. 熊本太郎、本荘次郎
レセプター・リガンド相互作用のMDシミュレーション
第○○回○○生物物理学会 2022年7月18日（東京）

VII. 研究費採択状況（代表者分・分担者分を別個に記載すること。)

注：過去に獲得した競争的研究資金について、文部科学省科学研究費、その他省庁研究補助金、財団等補助金別に、配分された直接経費の総額を記載のこと。間接経費の交付がある場合は（）内にその配分総額を記載すること。

研究代表者分

文部科学省科学研究費

1. 平成22～24年度 基盤研究(C) 3,700千円(1,110千円)
○○○に関する研究
2. 平成26～30年度 基盤研究(B) 15,000千円(4,500千円)
○○○に関する研究

その他省庁研究補助金

1. 平成21～24年度 厚生労働省科学研究費
がん克服戦略研究事業 10,000千円(3,000千円)
ヒトB細胞の.....

財団等補助金（受託研究・共同研究等を含む）

1. 平成22年度 ○○財団研究助成 2,000千円
○○○と△△△に関する研究

研究分担者分

文部科学省科学研究費

1. 平成 25～28 年度 基盤研究(B) 2,500 千円(750 千円)
TGF- β の分子機構に関する研究 (研究代表者 黒髪太郎)
2. 平成 27～30 年度 基盤研究(B) 2,000 千円(600 千円)
高脂血症における TGF- β に関する研究 (研究代表者 大江良子)

その他省庁研究補助金

1. 平成 21～24 年度 厚生労働省科学研究費
がん克服戦略研究事業 3,000 千円(900 千円)
ヒト B 細胞の..... (研究代表者 黒髪太郎)

財団等補助金 (受託研究・共同研究等を含む)

1. 特になし

VIII. 競争的研究資金の獲得状況のまとめ

注：記入例に従い、直接経費の総獲得額、研究代表者としての直接経費獲得額、研究分担者としての直接経費獲得額、最近5年間(2019年度以降、内定を含む)の直接経費獲得額、研究代表者としての直接経費獲得額、研究分担者としての直接経費獲得額を記載すること。間接経費の交付がある場合は、()内にその配分額を記載すること。

記入例

直接経費の総獲得額 (間接経費)	研究代表者としての直接経費 獲得額 (間接経費)	研究分担者としての直接経費 獲得額 (間接経費)
〇, 〇〇〇千円 (〇〇〇千円)	〇〇〇千円 (〇〇千円)	〇〇〇千円 (〇〇千円)

最近5年間の直接経費 獲得額 (間接経費)	最近5年間の研究代表者とし ての直接経費獲得額 (間接経費)	最近5年間の研究分担者とし ての直接経費獲得額 (間接経費)
〇, 〇〇〇千円 (〇〇〇千円)	〇〇〇千円 (〇〇千円)	〇〇〇千円 (〇〇千円)

主要研究論文目録

熊本 太郎

原則として原著論文が望ましいが、総説を含めることもできる。ただし合計 20 編以内に限定すること。このうち、原著論文を中心に、主要論文 5 編の別刷各 1 部を添付のこと。(コピー可)

注：直近の論文から過去に遡って記載すること。著者名は原則として全員を記すこと。ただし著者数が多数（10 人以上）にわたる場合は、最初の著者を 3 名記入し以下を省略のこと（省略する場合、その員数と、掲載されている応募者の順番を○番目と記入）。なお、応募者には下線を付し、論文の責任著者には*を記すこと。投稿中論文は記載しないこと。印刷中論文については、正式な採択通知書のコピーを提出できる場合に限って記載が認められる。

1. Oe Y., Honjoe E., Kuhonji T, Kumamoto T., Kurokami T*.
Cell-matrix interaction via CD44 is PKC activation.
J. Biol. Chem., in press.
2. Honjo E.*, Kumamoto T., Oe Y., et al. (15 人中 2 番目)
Regulation of Human B Cell ...
Immunobiology 207, 9-13 (2001)
3. Kumamoto T*., Honjo E., Oe Y., Kuhonji T., Kurokami T.
Endothelin activates the in vascular smooth muscle.
Nature 405, 586-589 (2000)

研 究 業 績 の 概 要

熊本 太郎

現在までの業績をA4紙に1枚、1200字以内で記載すること。

研究・教育に対する抱負

熊本 太郎

当該分野応募に関して、現在お持ちの抱負をA4紙に1枚、1200字以内で記載すること。

申告書

下記については、事実に相違なく、虚偽の記載があった場合には、採用取消や懲戒処分等の対象となり得ることについて了承します。

令和 年 月 日

氏名 (自署)

記

履歴書に記載した内容に虚偽はありません。

(何れかに印を付けてください)

過去に懲戒処分若しくは分限処分を受けたことはありません。

過去に懲戒処分若しくは分限処分を受けたことがあります。

※学生に対するセクシュアルハラスメントを含む性暴力等が原因で処分を受けた場合には、処分の内容及びその具体的な事由を記入してください。

以上